

## SynchRoid Series エンドユーザーライセンス規約（社内利用）

本規約は、ソフトバンク株式会社（以下「当社」という。）が提供する SynchRoid Series ソフトウェアのサブスクリプション及びこれに付帯するサービスの利用に関する条件を定めるものであり、当該サービス利用者（以下「ユーザー」という。）は、本規約に基づいて利用するものとする。

### 第1条 本件サービス

「本件サービス」とは、当社が開発又は第三者よりライセンスを受けたソフトウェア及びオープンソースソフトウェアで構成される下記ソフトウェア（以下「本件ソフトウェア」という。）のサブスクリプション及びこれに付帯するサービスのうち、当社又は当社が認める販売会社（以下「販売会社」という。）とユーザーとの間で別途協議の上締結する個別の契約（以下「個別契約」という。）に記載されたユーザーが希望するサービスをいう。

本件ソフトウェア（バージョンにより名称が変わる場合があります。）

- (1) Design Studio
- (2) Device Automation Agent 又は Desktop Automation
- (3) RoboServer
- (4) Management Console
- (5) Development Database
- (6) RoboServer Settings

### 第2条 申込方法

1. ユーザーは、本規約の内容を承諾の上、当社が定める申込手続きに則り、本件サービス利用のための申込を行うものとする。
2. 前項の申込に対し、当社が承諾し、ユーザーへ通知した時点で、ユーザーは本件サービスを利用する権利（以下「本件利用権」という。）を取得するものとする。

### 第3条 本件サービスの提供

1. 当社は、ユーザーに対し、本件利用権の有効期間中、本件サービスを提供し、ユーザーは、本件サービスを日本国内において社内利用できるものとする。
2. ユーザーは、当社の事前の書面による承諾がない限り、第三者に対して、本件サービスを譲渡し、又は転貸してはならない。

### 第4条 利用料金・支払方法

本件サービスの利用料（以下「利用料金」という。）の金額の算出方法及び支払方法については、別途当社が指定する規約に定めるとおりとする。

## 第5条 禁止行為

1. ユーザーは、本件サービスを用いて、以下に定める行為をしてはならないものとする。
  - (1) 本件サービスの利用に必要な範囲を超えた本件ソフトウェアの複製
  - (2) 本件ソフトウェアのソースコードの改変、翻訳、他のプログラム言語への変換、デコンパイル、リバースエンジニアリング、ディスアセンブル・ソースコードの解読、及び、これらについての第三者の補助
  - (3) 犯罪行為を惹起する行為、及びそれに類似する行為
  - (4) 当社又は第三者の知的財産権、プライバシーの侵害、誹謗中傷その他の不利益を与える行為、及びそれに類似する行為
  - (5) 他人のパスワード等を不正に使用する行為、自己のパスワード等を他人に使用させる行為、及びそれに類似する行為
  - (6) 本規約上の権利又は義務を第三者に譲渡し、貸与し又は担保提供する等の行為、及びそれに類似する行為
  - (7) 本件サービスからアクセス可能な第三者の情報を改竄・消去又は第三者の通信に支障を与える行為、及びそれに類似する行為
  - (8) 本件サービスを利用して他のソフトウェアを作成する行為
  - (9) 本件サービス又はその派生物を第三者へ有償無償を問わず提供する行為
  - (10) その他、当社が不適切と判断する行為
2. ユーザーが前項において禁止される行為を行なった場合、又は、本規約の条項のいずれかに違反した場合は、本規約で別段の定めがある場合を除き、ユーザーは、当社に対し違約金を支払うものとする。

## 第6条 本件サービスの権利関係等

ユーザーは、本規約及び個別契約に基づき本件利用権のみを取得し、本件サービスに関するその他一切の権利（本件ソフトウェアの所有権及び著作権を含むがこれらに限らない。）は、当社又は当社のライセンサーに帰属する。いかなる形であれ、本件使用許諾契約のいずれの文言も、当社又は当社のライセンサーの商標、商号又はブランド名に関する使用許諾又は権利を発生させるものとみなされないものとする。

## 第7条 指定ソフトウェア

1. 当社及びユーザーは、当社が本件サービスの利用のために必要又は適したソフトウェアを適宜指定することがあることを確認、合意する。
2. 前項に基づく当社の指定にかかわらず、ユーザーが他のソフトウェアを用いたときは、ユーザーは、本件サービスの全部又は一部を利用することができないことがあることを確認すると共に、本件サービスの全部又は一部を利用できないことに基づく損害賠償請求を含む当社に対する一切の請求権を放棄するものとする。

## 第8条 個人情報の取扱い

ユーザーは、本件サービスの利用において個人情報を取り扱う場合、個人情報保護のため十分な安全管理

措置を講ずるほか、個人情報保護法（平成 15 年法律第 57 号）に従い個人情報を取り扱うものとする。

## 第9条 提供の停止

1. ユーザーが以下のいずれかに該当する場合、当社は本件サービスの提供を停止することができる。
  - (1) ユーザーが利用料金の全部又は一部の支払を怠った場合
  - (2) ユーザーが本規約又は個別契約のいずれかの規定に違反した場合
2. ユーザーは、前項による本件サービス提供停止期間中においても、当社又は販売会社に対する当該期間中の利用料金の支払義務を免れないものとする。

## 第10条 本件利用権の解除

1. 当社は、前条第 1 項の規定により本件サービスの提供を停止した場合、何らの負担なく本件利用権を解除することができるものとする。
2. 当社は、ユーザーに次の事由が発生した場合は、何らの催告なしに本件利用権を解除することができるものとする。
  - (1) 仮差押、差押もしくは競売の申請又は破産、民事再生手続き開始もしくは、会社更生手続き開始の申立があったとき、又は清算に入ったとき
  - (2) 租税公課を滞納して督促を受けたとき、又は、仮差押、仮処分の申し立てを受けたとき
  - (3) 支払を停止したとき
  - (4) 手形又は小切手を不渡りにしたとき
  - (5) 営業の廃止又は解散の決議をしたとき
3. 本件サービスの使用許諾に必要となる、当社のライセンサーが有するソフトウェアについて、当社のライセンサーから当社に対するライセンスが消滅した場合は、その理由の如何を問わず、当社は、直ちにユーザーに書面で通知することにより何らの負担なく本件利用権を解除することができるものとする。ユーザーは、当該解除に伴い発生する損害について、理由の如何を問わず、一切当社に賠償請求することができないものとする。
4. 本件利用権が解除された場合は、ユーザーは、直ちに、本件サービスの使用をすべて中止し、ユーザーが所有し又はその支配下にある全ての本件ソフトウェア及びその複製物のすべてを破棄もしくは削除し、かつ、当社から要請があった場合は、当該破棄もしくは削除を行なった旨を当社所定の書面で当社に対して通知しなければならないものとする。また、第 1 項又は第 2 項の規定に基づき本件利用権が取り消され、かつ未払いの利用料金がある場合は、ユーザーは当該利用料金の支払について期限の利益を失い、未払いの利用料金全額を直ちに現金で当社又は販売会社に支払うものとする。

## 第11条 秘密保持

ユーザーは、本件ソフトウェア、本件サービスに関するマニュアルその他の文書、又は、本件サービスのベンチマークの結果を含む（がこれに限られない）本件サービスの性能に関する情報もしくはそれに関する顧客の評価（以下「秘密情報」という。）を当社の事前の書面による承諾を得ることなくして、第三者に対して開示、提

供又は漏洩してはならない。ただし、次のいずれかに該当することを証明できる情報については、この限りではない。

- (1) 提供又は開示を受けた際、既に自己が保有していた情報
- (2) 提供又は開示を受けた際、既に公知となっている情報
- (3) 提供又は開示を受けた後、自己の責めによらずに公知となった情報
- (4) 正当な権限を有する第三者から秘密保持義務を負わずに適法に取得した情報
- (5) 秘密情報によることなく独自に開発又は取得した情報
- (6) 法律の規定に基づき開示しなければならない情報
- (7) 書面により事前に相手方の同意を得た情報

## **第12条 本件利用権の有効期間**

1. 本契約の有効期間は、当社から納品時に通知するサービス提供日から発効する。
2. 本規約第4条（利用料金・支払方法）ないし第8条（個人情報の取扱い）、第10条（本件利用権の解除）、第11条（秘密保持）ないし第24条（準拠法及び管轄裁判所）は、本件利用権の有効期間終了後も有効に存続するものとする。

## **第13条 有効期間終了後の措置**

1. 本件利用権が終了した場合には、ユーザーは、本件サービスの利用を停止し、有効期間終了後30日以内に、当社の指示に従い、自らの費用で本件ソフトウェア及びその複製物のすべてを直ちに破棄もしくは削除し、かつ、当社の請求があるときは当該破棄もしくは削除を行なった旨を書面で当社に対して通知しなければならないものとする。
2. ユーザーが前項の規定又は第10条第4項の規定に違反した場合には、ユーザーは当社又は販売会社に対して、違約金を支払うものとする。

## **第14条 第三者及びオープンソースコード**

1. ユーザーは、本件ソフトウェアが、フリーソフトウェアを開発した第三者の定めるライセンス条項及びオープンソースソフトウェアについてはオープンソースコードライセンス条項が適用される当社以外の第三者のライセンス（「本件第三者ライセンス」といいます。）が適用されるフリーソフトウェア及びオープンソースソフトウェアを含むがそれらに限られない、一定の第三者及び外部のコード（以下「本件外部コード」といいます。）を含んでいることを確認する。
2. ユーザーは、本件サービスにおける、本件外部コードの利用及びその条件が当社又は第三者によって随時見直されることがありうることを確認する。
3. ユーザーは、本規約の条項と本件第三者ライセンスの条項とが矛盾抵触する場合は、ユーザーの本件外部コードへのライセンスについては、本件第三者ライセンスが優先するものとするが、本件第三者ライセンスの条項は本件ソフトウェアのその余の部分又は本件ソフトウェア全体には適用されないことを確認する。

## 第15条 非保証

当社は、本件サービスについて、第三者の権利の非侵害、商品性及び特定目的への適合性、並びに本件ソフトウェアのエラーの不存在、完全性、中断・誤作動の不存在及び不正アクセスに対する完全な安全性、その他の瑕疵又は欠陥（以下「瑕疵等」と総称します。）がないことを含む一切の保証（黙示の保証を含みます。）を行わないものとする。

## 第16条 責任制限

1. 当社は、仮に損害発生の可能性を通告されていたとしても、ユーザー及び第三者に対し、本件サービスの使用もしくは使用ができないこと、又は、本件サービスの瑕疵等によってもたらされたいかなる損害（直接損害、逸失利益、間接損害、特別損害、付随損害、懲罰的賠償又は派生損害を含むがこれらに限られない。）についても責任を負わないものとする。
2. 第三者がログイン名を不正に使用する等の方法で本件サービスを不正に利用することによりユーザー又は第三者に損害を与えた場合において、当社は、ユーザーを含む第三者に対して一切の責任を負わないものとする。
3. ユーザーが本件サービスの利用により第三者に対し損害を与えた場合、ユーザーは自己の責任によりこれを解決するものとし、理由の如何を問わず、当社にいかなる責任も負担させないものとする。
4. 当社は、ユーザーを含む第三者に対して、本件サービスにより作成され、本件サービスの稼働する PC 又はクラウド上のシステム内に保存されたユーザー又は第三者のデータ等の全部又は一部の消失、毀損等について一切の責任を負わないものとする。
5. 前4項の規定にかかわらず、万一、当社がユーザーに対して不法行為又は債務不履行に基づく損害賠償責任を負うとされた場合であっても、当社のユーザーに対する損害賠償の上限額は、理由の如何を問わず、当該不法行為又は当該不履行が行われた時点の直近6ヶ月間において、当社がユーザーから直接又は販売会社を経由して受領した本件サービスの利用料金の合計額とする。

## 第17条 反社会的勢力の排除

1. 当社及びユーザーは、次の各号に該当しないことを表明し、保証するものとする。
  - (1) 暴力団、暴力団構成員、準構成員、暴力団関係企業、総会屋、社会運動標ぼうゴロ、政治活動標ぼうゴロ、特殊知能暴力集団、その他の反社会的勢力（以下「反社会的勢力」という。）である場合、又は反社会的勢力であった場合
  - (2) 自ら又は第三者を利用して、当社に対して、詐術、暴力的行為又は脅迫的言辞を用いるなどした場合
  - (3) 相手方に対して、自身が反社会的勢力である旨を伝え、又は、関係団体もしくは関係者が反社会的勢力である旨を伝えるなどした場合
  - (4) 自ら又は第三者を利用して、相手方の名誉や信用等を毀損し、又は、毀損するおそれのある行為をした場合
  - (5) 自ら又は第三者を利用して、相手方の業務を妨害した場合、又は、妨害するおそれのある行為を

した場合

2. ユーザーが前項に違反した場合、当社は、何らの催告なしに本件利用権を解除することができるものとする。
3. 前項により本件利用権を解除した場合において、ユーザーに損害が生じたとしても、当社は一切の損害賠償を負担しないものとする。

## **第18条 輸出管理**

ユーザーは、本件サービスを外国に輸出し、海外へ持ち出し、又は日本国外の支店等で使用してはならないものとする。

## **第19条 地位の譲渡禁止**

当社及びユーザーは、相手方の書面による事前の承諾がない限り、本規約上の権利及び義務並びに本規約上の地位を第三者へ譲渡し又は担保に供してはならないものとする。

## **第20条 別紙**

本規約末尾に別紙が添付されている場合は、本規約と一体、不可分なものとして効力を有し、明らかな誤記を除き、当社及びユーザーの権限ある者の作成した書面による合意なくしては修正できないものとする。

## **第21条 本規約等の変更**

1. 当社は本規約を事前の周知なく変更することができるものとする。本規約又は本件サービス内容を変更する場合には、当社の指定する SynchRoid ポータルサイトへの掲示など当社が適切と認める方法でユーザーに通知し、当該通知時点より効力を生じるものとする。ただし、当該変更が、文言の修正等ユーザーに不利益を与えるものではない軽微なものの場合には、通知を省略することができるものとする。
2. 変更後の本規約に同意しない場合には、直ちに本件サービスの利用を停止するものとする。ユーザーが本規約の変更後も本件サービスの利用を継続する場合、ユーザーは、変更後の本規約に同意したものとみなされる。

## **第22条 付帯サービスの利用**

ユーザーは、付帯サービスの利用にあたり、別途当社が指定する利用規約等の同意を求められる場合があることを了解するものとする。その場合、ユーザーは、本規約に加え、当該規約等に従って付帯サービスを利用することに同意するものとする。

## **第23条 準拠法及び管轄裁判所**

1. 本規約の効力、履行及び解釈に関しては日本法が適用されるものとする。
2. 本規約に関して生じた紛争については、東京地方裁判所をもって第1審の専属的合意管轄裁判所とする。

#### **第24条 協議事項**

本規約に定めのない事項について、又は、本規約について当社ユーザー間に疑義がある場合、当社ユーザー協議の上、円満に解決するものとする。

以上